

# 『一生懸命』幻の新座市議会報告第76弾!



2012年1月31日発行

## ③ 大型道路よりも歩道を!

福島をはじめとする東日本、いや、日本全体が大変な時に100億もかけて保谷・朝霞線を造ろうとする埼玉県と新座市。保谷・朝霞線ができれば**渋滞は野寺と道場**で起きモータープール化します。その上、川越街道よりも太い道路が地域を分断するので、住民のデメリットははかりしれません。その上、県道は市に払い下げられるので、市は更に財政負担を強いられます。財政難のわが市に必要な道路とはどうしても思えないのです。市民が必要としているのは安心して歩ける歩道です。

## ③ 新座の学力を上げよう!

子ども達の学力。残念ながら新座市は朝霞4市で小中学生ともに**最下位**が続いています。学力を上げることは市にも子ども達にとっても大切なことです。お金をかけないでそれを解決する方法があります。通常の授業を**5分**、年間を通じて短縮するので、僕は昔からそれを提案していますが、それを実際にやった学校があります。杉並で**学力1位**の和田中です。授業を短縮することで集中力が高まることは21年間の教員生活で確認済み。短縮すれば授業のコマ数が増えますから、主要教科は毎日やることができます。理科の授業などでは2時間続きの実験や実習も可能です。週に一度の教科も2回できるかも知れませんね。そして、一番大きなことが**給食を12時に食べられる**ということです。現在遅い学校では1時近くにならないと食べられないのですから、食べ盛り子ども達や若い先生達はたまりません。短縮すれば午前中の授業への集中力が高まることは確実です。文科省も”まったく問題ない!”と、言っているこの作戦ですが、新座市教委は聞く耳を持ちません。事務仕事が多く、子ども達と一緒にいられる時間が少ない上に、財政難だからと先生達からまで駐車料金も取る新座市。全県の先生達が「新座市には行きたくない」と**不人気**なのも分ります。何とかせにやあいかなのです。



「**教育を語らせたら止まらない男**」72年、都立石神井高校卒業。73年、船乗りを目指し北大水産学部に入學するも、朝日新聞「今、学校で」を読み、**漁師から教師**を目指す。77年～98年、新座五、六、二中教諭。硬式テニス部を率いて全国大会14回出場、全国制覇2回、関東制覇5回。1998年「たかやん塾」を開校。2004年、教育新座を目指し、**教員から議員**へ。新座市議会議員を2期務め市民目線の議会報告を毎月発行。7箇所駅立ちを続け、それ以外の日は毎朝、小学生の見守りをしている。また、川づくり懇談会代表として、2008年より、月に1回黒目川の清掃活動に取り組む。古くはNHKの「おはよう広場」、去年はインターネットテレビに出演。議員日記は**8年間毎日更新**。HPは17万5千アクセスを超える。新座初のツイッター議員であり、ミクシー、facebookでも発信している。子ども達の未来の為に「脱原発」に燃える男である。③

たかやんの応援団 で 検索

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737  
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

## ③ キャッチボール！



教え子で高校球児の龍一にお古のグローブを貰いました。そのグローブで8歳の息子とキャッチボールをするのが、ちょっとした楽しみになっています。教師と生徒も夫婦も会話のキャッチボールが上手になると、いい関係になりますよね。同じように議員としての仕事も市民のみなさんとのキャッチボールが大事だと思うのです。**選挙の時だけ**の一方的なお願いではなく、**普段から**キャッチボールを心がけていきたいと思います。それには、普段からボールを投げる(発信)ことです。発信するには普段から議会で発言し、公の場で自分の考えを述べることだと思います。この「一生懸命」は市民のみなさんとのキャッチボールのボールです。僕は76球しか投げていませんが、みなさんからの返球はたくさんあります。これからも毎月投げていきますので、みなさんもうどぞ気楽に投げ返してください。高校生、小中学生からの返球も楽しみにしています。 ③

## ③ 初清瀬！

初めて清瀬駅南口に立った日の写真です。これで駅立ちはひばりが丘、東久留米、保谷、新座、志木清瀬駅北口、南口と7箇所になりました。



## ③ 12億

15億かかると言われていた「ふるさと新座館」の建設費が、入札の結果12億に下方修正されました。ずっと凍結していたのに、国からの交付金が予想よりも多めにきたために急遽、建設にゴーサインがでた「ふるさと新座館」。確かに野火止公民館の代替施設という意味も、市民が要望していた小ホールが設備されている側面もあるでしょう。しかし、市民の本当の願いは近くにある**集会所**の建設であり公民館や市民会館の補修工事なのではないのでしょうか。場合によっては集会所だって、小ホールになりますよね。新座市は人口は増加していますが、**労働人口**は減り続けています。**税金**がどんどん落ち込んでいるのです。新しい箱物を造っていい訳がないのです。人件費も維持費もかかる箱物。その「ふるさと新座館」建設に**26人**も議員がいて、反対したのが**1人**だけでは寂しすぎます。**新しい箱物**を造っているようでは新座市に**未来**はない！僕はそう思っています。

## ③ 子ども達の為に諦めない！

原発の事故があったら、「人を動かし、物は動かさない」それが基本ですが、民主党は人は動かさず放射性物質を動かそうとしています。放射能で汚染された地域に子ども達を住ませ、汚染された瓦礫を日本中にばら撒いて、焼却しようとしています。空気中に放出された放射性物質は呼吸によって、あるいは食物として、子ども達の体内に取り込まれます。12月議会で教育長は「新座市においては、子供にそういったいろんな情報を教えて、不安をあおり立てるような状況ではない」「埼玉県というこのエリアは、そういう子供たちに不安をかき立てるような、そういう状況の地理的なところではない」と、繰り返し給食の安全性を訴え、内部被曝の可能性を否定しています。気持ちはよく分かりますが、とてもそんな状況ではないのです。**子ども達の為に諦めない**で発言を続けていきます。そして、札幌市のように「給食の食材は0ベクレル」宣言を出せるような新座市にしていきたいと思うのです。現在福島をはじめ、空間線量が再上昇しています。残念ながら、日本全国で内部被曝はこれから始まると考えなくてはいいけないのです。

読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください m(\_ \_)m